

みなさん、こんにちは。

アポイ岳ジオパークふるさとジオ塾を受講いただき、大変ありがとうございます。

この度、みなさんへのご連絡や受講生同士の交流の場として、「ふるさとジオ塾通信」を発行することとしました。本創刊号では、第2回目講座のご案内と前回の模様をお伝えします。

次回（第2回目）講座のご案内

第2回目の講座のテーマは「楽しもう！秋のアポイ岳」です。

アポイ岳と言えば、一般的に春から初夏にかけての高山植物が人気ですが、秋もこの時期ならではの花達が私達を迎えてくれることでしょう。普段行くことの少ない、初秋のアポイ岳と一緒に楽しみませんか？ 2つのコースを用意しますので、ご自分の体力に合わせて好きなコースを選んでください。それぞれのコースに、ガイドさんが付いて解説してくれます。

それでも、「登山はちょっと...」「体力的に無理かな」という方も多いかと思えます。そこで、**今回は登山と座学の2部制とします**。座学では、アポイ岳の成り立ちの不思議や特殊な高山植物群落について、やさしく楽しく学びたいと思っています。

両方に参加していただくのはもちろん、登山だけ、座学だけの参加という方も大歓迎です。

【第2回目講座「楽しもう！秋のアポイ岳」】

1. 開催日 平成22年9月19日（日）

2. スケジュール

(1) 第1部 野外講座「アポイ岳登山」

① 頂上コース（頂上までを往復します）

8:00 アポイ岳ビジターセンター前集合

8:10～14:00 アポイ岳登山（途中で昼食を摂ります）

② 5合目コース（5合目山小屋までを往復します）

9:00 アポイ岳ビジターセンター前集合

9:10～13:30（ゆっくりペースで登ります。途中で昼食を摂ります）

*第2部を受講しない方は、下山後、随時解散となります。

(2) 第2部 室内座学「アポイ岳の成り立ちと高山植物」

14:00～15:30 アポイ岳調査研究支援センター（アポイ山荘横）

3. 持ってくる物

(1) 全員共通

・アポイ岳ジオパークガイドブック ・同封した資料 ・筆記用具

(2) 登山する方

・登山に適した服装 ・登山靴 ・雨具 ・昼食 ・飲料水 ・行動食（おやつ） ・非常食

4. 出欠の連絡

出欠について、9月16日（木）までに電話等でご連絡ください。

*連絡先：様似町役場商工観光課 36-2120

出席の場合、①登山のみ、②座学のみ、③登山と座学の両方 のいずれかもお知らせください。

5. 雨天等の場合

雨天などの荒天の場合は、登山は中止しますが、第2部の座学は実施します。座学の時間はそのままです。登山を中止する場合は、前日18時頃までに登山受講予定のみなさんに電話でご連絡します。



アポイちゃんの
ワンポイントアドバイス！

同封の資料にさっと目を通して
おくと、講座がもっと楽しくなるよ！

もっと詳しく予習したいときは、
ガイドブックの次の部分を読んでおいてね。

P24～25:アポイ岳の成り立ち

P34～39:アポイの高山植物

P53:当日見られると思われる花

第1回講座のおさらい

「エンルム岬の成り立ち」講師：島田哲也さん（静内小教諭）



エンルム岬は、大昔、元々あった地層の割れ目に下からマグマが入り込み、それが地中で冷えて固まってできた岩（ひん岩）。親子岩などの奇岩や観音山なども同じ時代に同じ様にできたもので、これらが一直線に並んでいるのは、地面にこの方向に圧力がかかり、割れ目が一直線にできたためだそうです。

←**島田さん**「様似にはプレートの衝突現場など、地質的にとても面白い場所がたくさんあるんですよ。」

「エンルム岬と様似の黎明」

講師：羽立豊春さん（元郷土館職員）

様似は200年以上の歴史を持つ、早くに拓けたまち。当時の長距離輸送は船の時代。様似には天然の良港、エンルム岬があったために会所が置かれ、わずか8年間という短い間に、等澗院が建てられたり、様似山道が作られたりと、今の様似の土台ができたのです。当時、高田屋嘉兵衛なども、東へ向かう際には様似で1～2泊ほどして準備を整え、それから出発したといわれています。

「様似山道は、北海道の国道第1号の一つなんだよ。」と**羽立さん**→



「はるか南からきた岩石」講師：島田さん (1) 石灰岩

新富周辺では、さんご礁が原料の石灰岩が豊富に採れます。さんご礁のない様似に石灰岩があるのは、地球の表面の動きと関係があるのです。地球の表面はサッカーボールのように何枚かの板（プレート）のつぎはぎで出来ていて、プレートは今もとてもゆっくり（1年に数cm）動いています。その動きによって、はるか南の暖かい海にあったさんご礁が長い年月をかけて運ばれてきたのが様似の石灰岩なのです。

←**島田さん**「石灰岩が採れるところでは、鍾乳洞ができやすいんです。様似にも、まだ発見されていない鍾乳洞があるじゃないかな。」





(2) チャート

チャートも石灰岩と同じく、生物（放散虫）の死がい为原料とし、南方の海から運ばれてきたもの。庭石として知られる「日高赤石」は、このチャートの一種。ものすごく固く、昔は火打石として使われていました。ハンマーで叩くと火花がでますよ。

←「とりゃーっ、火花出ろっ！」

「新富の往時を偲ぶ」 講師：松田章さん（新富出身）

現在は3～4人しか住んでいない新富地区だけど、50年ほど前にはその100倍もの人が生活していました。はじめは福井県からの開拓移民団約70戸。明治年代には水銀の採掘も行われており、松田さんのおじいさんも、鉱山技師だったそうです。当時、集落には商店も2件あり、うち1件は今で言う居酒屋もやっていました。花札などの遊びも盛んで、新富は別名「お気楽町」とも呼ばれていたんですって。

「ぼくらが子どもの頃は、百人一首がとても流行ってましたねー。」と↑松田さん

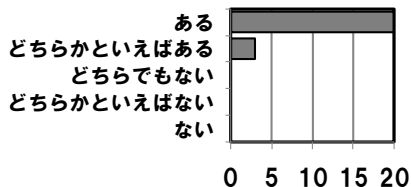


講師の先生及び受講者のみなさん、暑い中お疲れさまでした。
ジオサイトE4「石灰岩のブロック」の前にて

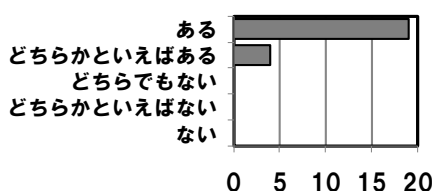
第1回講座アンケート結果の一部をご報告します。

アンケートの結果、受講生のみなさんがジオパークや類似のことに強い興味を持っていることが分かりました。また、講座の内容についても、楽しくやさしく学べた様子が見えます。講座の時間や訪問箇所については、多くの方がちょうど良いと感じていた一方、少し物足りないと感じた方もおられたようです。アンケート結果については、今後の講座の参考にさせていただきます。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

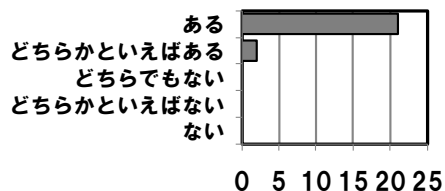
Q アポイ岳ジオパークに興味がありますか？



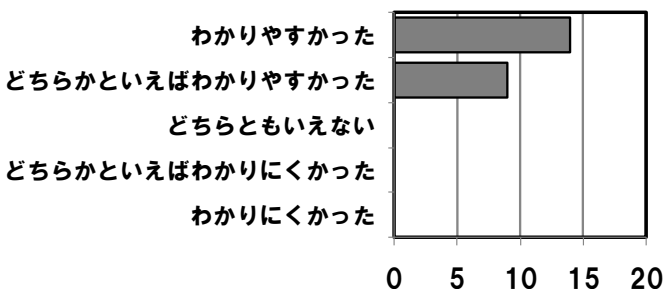
Q 類似の地質や自然環境に興味がありますか？



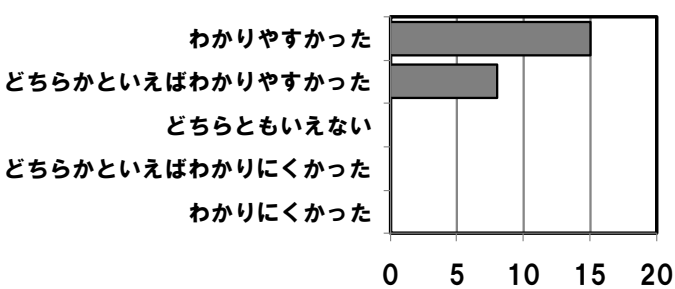
Q 類似の歴史、文化や産業に興味がありますか？



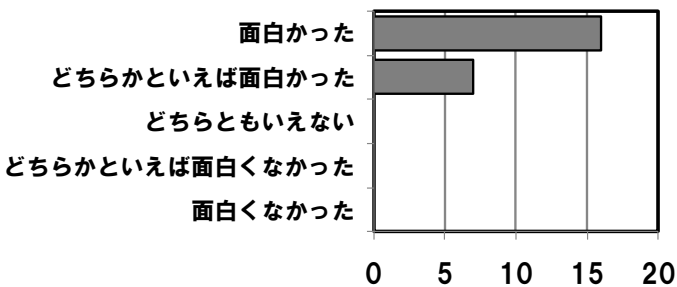
Q 今日の講座での、類似町の地質と自然環境に関する解説・説明は、わかりやすかったですか？



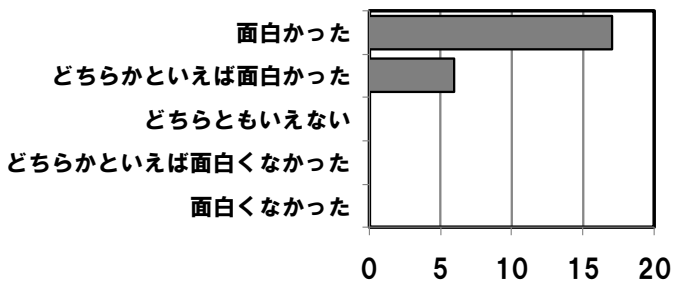
Q 今日の講座での、類似町の歴史、文化と産業に関する解説・説明は、わかりやすかったですか？



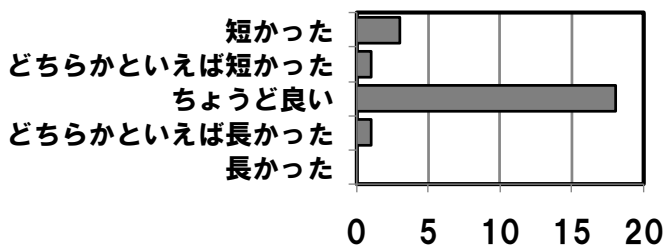
Q 今日の講座での、類似町の地質と自然環境に関する解説・説明は、面白かったですか？



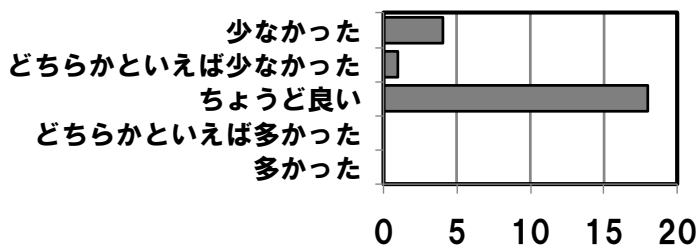
Q 今日の講座での、類似町の歴史、文化と産業に関する解説・説明は、面白かったですか？



Q 今日の講座の時間の長さについて、どう思いますか？



Q 今日の講座の訪問箇所の数について、どう思いますか？



編集後記： 第1回目講座に参加されたみなさん、類似の9月とは思えない日照りのなか、お疲れ様でした。それでも、住み慣れた地元の意外なスゴさにたくさん気付いていただけたのではないのでしょうか。第2回目もたくさんの塾生のみなさんと会えることを楽しみにしています。

アポイ岳ジオパーク ふるさとジオ塾通信 vol.1
 発行：2010年9月
 発行元：〒085-8501 類似郡類似町大通1丁目21
 類似町アポイ岳ジオパーク推進協議会事務局（類似町役場商工観光課）
 電話：0146-36-2120 FAX：0146-36-2662
 E-Mail：apoi.geopark@festa.ocn.ne.jp